

メグロー派 グラスリッツェン スイスー日本 巡回展

グラスリッツェン展 — スイス

2014 年 6 月 26 日ー7 月 6 日

ベルン 日本大使館広報文化センター

6 月 26 日（金）- 29 日（日） 10:00 - 18:00

6 月 30 日（月）- 7 月 3 日（木） 13:30 - 18:00

7 月 4 日（金）- 7 月 6 日（日） 10:00 - 18:00

Finissage 7 月 6 日（日） 15:00-16:30

連絡先： Fr. Yoshiko Takeda Email : ytakeda@glasritzen.jp

グラスリッツェンはスイス人のガラス彫刻家 - ゲルリン・メグロー夫人が 1970 年代に芸術の域にまで高めたダイヤモンド・ポイント彫刻です。夫人の作品は非常に独創的で、その技術だけでなく、芸術性も高く評価されています。しかし、メグロー夫人が 1979 年に亡くなった後、夫人のグラスリッツェンの技術と技法を継承するスイス人は、ほんの僅かしかいませんでした。

そこで、この芸術の価値に注目した武田佳子・靖はメグロー夫人の最後の弟子であるカウフマン夫人に師事し、継承する事にしました。武田佳子はその技法を研鑽し、武田靖が理論的背景を系統的に研究しました。そして二人は 1996 年、この生粋のスイス生まれであるメグロー派の豊かな芸術性と確かな技法を次の世代に継承・啓蒙する為に、日本で組織を作り、本格的な活動を開始しました。それが「グラスリッツェン・メグロー・ジャパン」です。

メグロー夫人の技法の継承が、スイスではほとんど途絶えてしまっている今、日本で継承されている事は大きな意味を持っています。「メグロー・ジャパン（現在メグロー・アカデミー）」の日本での活動は 18 年になります。この長期に渡る活動の中で、日頃の講習の折にも、またスイス研修などを通して、グラスリッツェンのみならず、スイスの自然、文化を紹介してきた事は文化交流としても評価されてきました。

この度、私達のグラスリッツェンの作品を日瑞友好 150 年の年に日本とスイス両国で展示できる事は、私達の誇りとも言えます。